

# 尾花沢地区 公民館だより

令和3年10月1日発行 ■ 尾花沢地区公民館 (Tel. 23-2016・Fax 24-0383)

〒999-4225 若葉町1丁目4番27号(サルナート内事務室) E-mail: oba\_k@city.obanazawa.yamagata.jp

## 10月の予定

- 1日(金) さわやかあいさつ運動(北村山高校)
- 5日(火) 新たな地域づくり懇話会
- 8日(金) さわやかあいさつ運動(尾花沢中学校)
- 9日(土) いけばな子ども教室(共同福祉施設)
- 20日(水) こども見守隊(尾花沢地区)
- 11月5日(金)~7日(日) 市民文化祭

尾花沢地区公民館事業 2021

## 上の畑焼体験教室

9月3日(金)サルナート研修室において、12名が参加し、上の畑焼体験教室が行われました。初めに講師の伊藤瓢堂先生より、抹茶碗の作り方の説明と実演をしてもらい、その後、先生からアドバイスや手直しをしてもらいながら思い思いに作成しました。



各地区の町内会を紹介します!

## 私たちの町内会

## 「安全安心で思いやりの新町3」を目指して

新町第3区長 伊藤 次直



花植え作業

- Q** どんな地域(町内会)にしたいですか?
- A** 安全で安心な町内会にしていきたいと思えます。新町第3町内会には、新町全地区の「守り神」地藏堂、天王さん、祠があり、地区の方々の拠り所となっています。また、第1児童公園、ひかり児童公園など、子育てしやすい環境も整っている地域です。
- Q** 町内活動で嬉しかったことは何ですか?
- A** コロナ禍の影響で行事をやむを得ず中止、また、規制をかけた縮小して行っているため地区民の顔が見えにくく、通り過ぎることが多くなってきたように感じられますが、開催できた行事は、それだけで嬉しく感じます。
- Q** 町内会の活動としては、新年会、雪押し場(推雪場)のゴミ拾いから始まり、春には町内三箇所「マリーゴールド」、「ラベンダー」の花植え、花壇の管理、衛生ステーションには、正しい分別の注意喚起を掲示して、異物の混入やゴミの削減の取り組み、さなぶり会、秋には、まちづくり推進委員会のメンバーが中心となり、刈り上げ祭りやグランドゴルフ大会、全国小中学校スキー大会の優勝者には、町内をあげてお祝いなどもしました。また、地区民が毎日の生活の中に運動を取り入れて、より健康的な生活を送れることを目指し、「NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ」の団体活動会員として登録しています。様々な特典が受けられる為、どしどし利用して欲しいです。
- Q** 町内の取組やお知らせは、月一回の新町3町内会報に載せ、回覧して見える化を図っています。
- Q** 町内の困りごとは何ですか?
- A** 年々転入者(住宅)が増加しているため、雪押し場(推雪場)の不足と、一部の流雪溝への投雪時の水量不足問題が発生しており、雪の処理に苦慮しています。
- Q** 町内会でこれからしたいことは?
- A** 今後、これまで行ってきた事が出来なくなるなど、様々な事が転換期になっていくのかもしれない。しかし、これからも「あいさつ」を通して、安全で安心な思いやりのある町内会を目指して、知恵を出し合い進んで行きたいと思えます。

## 「ふれあい」のまち尾花沢②

誇るべき風景美を持つ尾花沢の山々／あふれる魅力を雄大なふところにひめて／私たちとともにドラマをつくりだしていきます

人と人との交流から生まれる「まちづくり」のエッセンスを求めて「新しいまち」へ、ステップアップ。

### 新しい尾花沢へ。

羽州街道、仙台街道軽井沢越え、「おくのほそ道」山刀伐峠越え、中羽前街道、尾花沢鉄道を通じて新しい文化や情報をもたらされ、発展してきた尾花沢。そして現代、交流の輪はどんどん大きく広がっています。人と人、まちとまち、日本全国、そして世界へ…。

今も尾花沢市では色々なかたちで交流を育み、そこから生まれる活力をまちづくりに生かしています。それは市をあげての大規模な事業であったり、地域単位のささやかなボランティア活動であったり、大小さまざま。しかし、それらの取り組みが集まって着実に「新しいまち」へとステップアップしています。

#### 尾花沢・常盤・玉野・宮沢・福原の五つの地区の「おらが地区の自慢」

遠い「まち」に住む友達が、久しぶりに遊びに来て、言いました。「このまちはホッとできるわ。」住み慣れてしまうと、「まち」のいいところも、よくないところも、見えなくなってしまうことがあります。

他の「まち」の人が、新鮮なまなざしで、この「まち」を語ったとき、あらためて気付かされることがあります。

もっともっと、遊びに来てほしい。いろんな人たちとふれあいたい。そこからはきっと「まちづくり」にとって貴重なアイデアと刺激と活力が、生まれてくるから。

(文責 山形県地域史研究協議会長 梅津保一)

おばけん  
2021

## 歴史講座 終了

### ◎歴史講座Ⅰ『尾花沢市史を読む』2021

平成17年10月15日発行された『尾花沢市史』上巻について今年度は5月から5回シリーズで解説いただきしていただき9月16日に終了しました。受講者からは「尾花沢市史を知るいい機会になってとても良かった、またしてほしい」という意見が多く有りました。来年1月には「大河ドラマ」の解説をしていただく予定です。

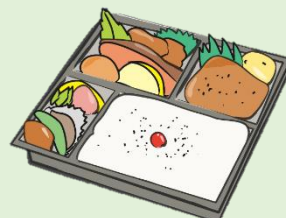


## 昼食ボランティアサービス 始まります

一人暮らし高齢者の方の見守りもかねて、婦人会による昼食配達が今年22日から3月まで計6回の予定で行われます。今年度はコロナ禍で仕出し弁当をお届けします。日程は次のようになります

#### 食事ボランティア日程

10月22日(金)	1月7日(金)
11月17日(水)	2月15日(火)
12月17日(金)	3月8日(火)



## お知らせ

例年10月より開催していた介護予防事業「おたっしや教室」は、コロナ禍の影響で、11月からの開催(予定)となりました。

R2年度 尾花沢地区の人口と世帯  
(9/1現在) (前月比)  
男性: 3,377人 (-6)  
女性: 3,600人 (-9)  
合計: 6,977人 (-15)  
世帯数: 2,587世帯 (-1.)

R3年度 尾花沢地区の人口と世帯  
(9/1現在) (前月比)  
男性: 3,328人 (-7)  
女性: 3,535人 (+6)  
合計: 6,863人 (-1)  
世帯数: 2,582世帯 (+3.)